

「関東大震災 100 年リレーシンポジウム」に共同出展 ～山梨・長野・茨城・群馬の各会場で「地震保険」について啓発～

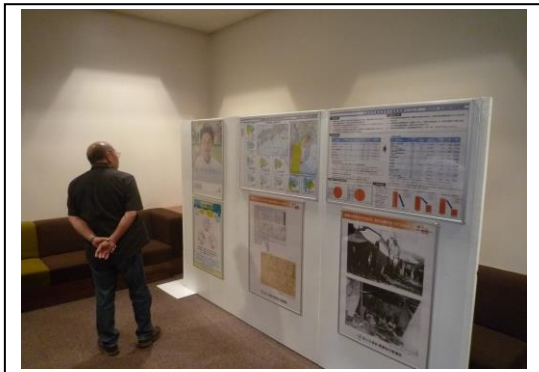
日本損害保険協会関東支部（委員長：廣松 さゆり・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 執行役員（埼玉地域担当））では、関東地方整備局が関東各都県で開催する「関東大震災 100 年リレーシンポジウム」に出展し、山梨・長野・茨城・群馬の各会場で、各県の河川国道事務所および防災担当窓口と連携して、地震保険の解説パネル展示やリーフレットの提供などを行いました。

関東地方整備局では、首都直下地震の切迫性が指摘される中、今年に関東大震災から 100 年を迎える節目の年に当たることから、大きな被害の発生が予想される管轄地域において、地域全体での対応力と関係機関との連携強化や、主体的な行動の必要性・重要性を広く住民や関係者に訴えることを目的に本シンポジウムを企画しました。シンポジウム開催に当たり、当協会の防災・減災に向けた取組みについても理解と賛同が得られ、日程的に調整がついた上記 4 県において共同出展に至ったものです。

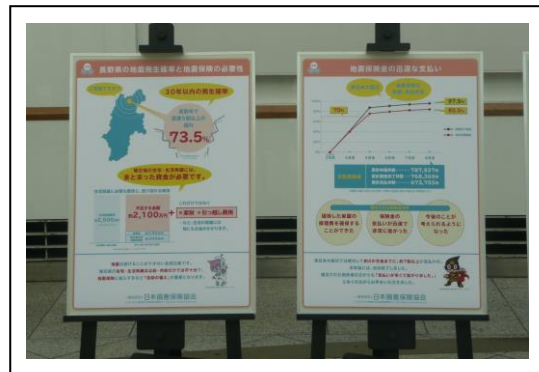
各県会場のパネルブースにおいては、同事務所や各県が当該地域の地震災害の歴史や地震発生リスク等のパネルを展示する中、当協会も自助としての経済的備えの必要性について、参加者に広く訴えました。

当支部では、今後も引き続き行政機関等と連携して、地域のリスク認識と防災意識の向上ならびに地震保険の理解促進と普及向上に向けて鋭意取り組んでいきます。

【①山梨県：7/21（金）／山梨県立文学館】



【②長野県：7/26（水）～27（木）／長野駅改札前】



【③茨城県：7/28（金）／クラフトビックホール土浦】



【④群馬県：8/17（木）／群馬会館】

